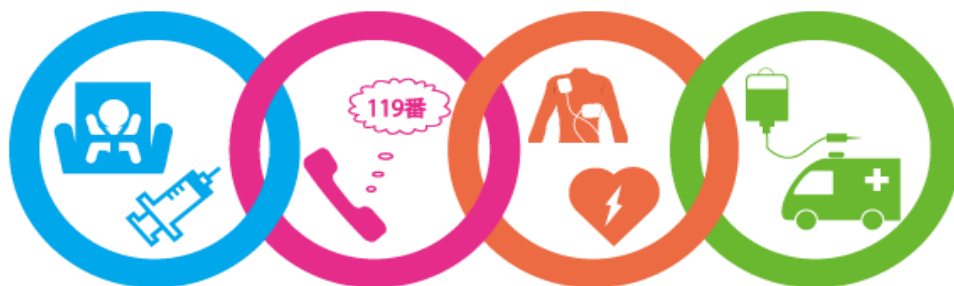


北見地区消防組合

令和4年救急統計



北見地区消防組合新型コロナウイルス感染対策
リユーザブル感染防止衣令和4年5月より運用開始



目 次

1、救急搬送の出動状況（出動件数、搬送人員の推移）	・ ・ ・ P1
2、地区別救急隊出動件数	・ ・ ・ P2～3
3、救急搬送の状況（活動時間の推移）	・ ・ ・ P3
4、傷病者年齢区分別搬送人員状況	・ ・ ・ P4～5
5、傷病程度別搬送人員状況	・ ・ ・ P6
6、急病に係る疾病分類項目別搬送人員状況	・ ・ ・ P7
7、急病に係る疾病分類項目別重症割合	・ ・ ・ P7
8、医療機関別搬送人員の状況及び管外搬送状況	・ ・ ・ P8～9
9、病院問合せ回数	・ ・ ・ P10
10、心肺停止傷病者搬送人員、社会復帰状況	・ ・ ・ P10
11、二次・三次医療機関への搬送状況	・ ・ ・ P11
12、特定行為等の実施状況	・ ・ ・ P11
13、救命講習実施状況	・ ・ ・ P12
14、市民による応急手当実施状況	・ ・ ・ P13
15、口頭指導による応急手当実施不可理由	・ ・ ・ P14
16、周産期救急の出動状況	・ ・ ・ P14
17、ドクターカー出動状況	・ ・ ・ P14
18、新型コロナウイルス感染者対応状況	・ ・ ・ P15

1、救急搬送の出動状況（出動件数、搬送人員の推移）

令和4年中の救急出動件数は6,756件で前年より19.1%（1,085件）増加し、搬送人員は6,065人で前年より15.8%（829人）増加している。（図1-1、表1-1、表1-2）

図1-1 救急件数の推移（北見地区）

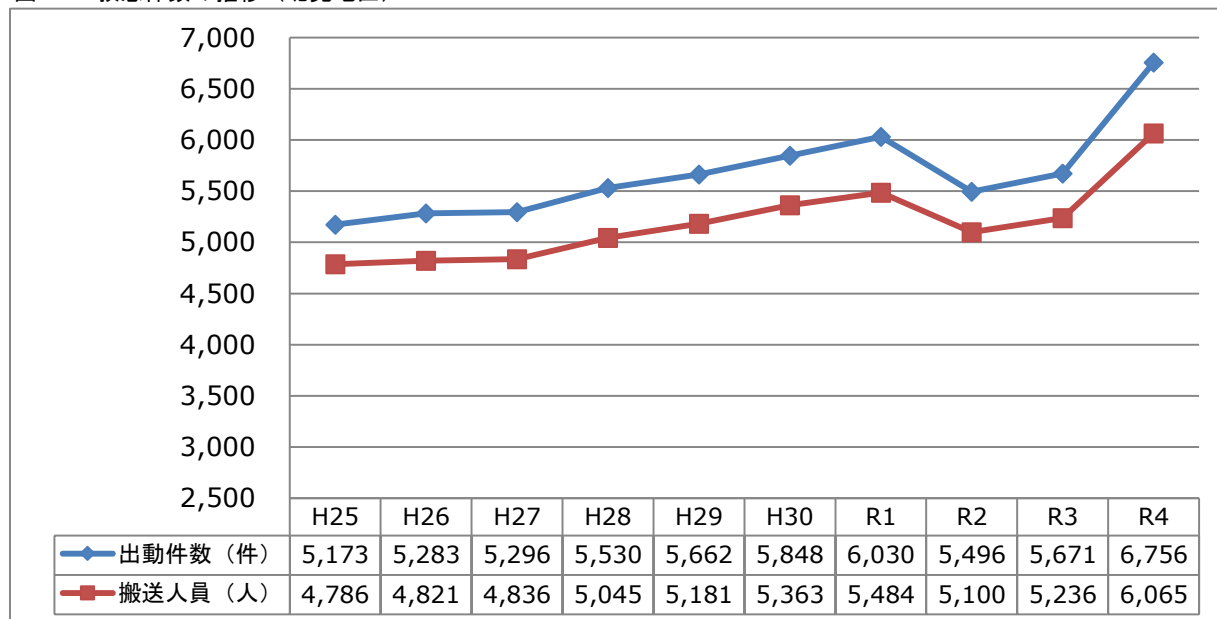


表1-1 年別出動件数内訳

	署	西	東	南	端野	常呂	留辺蘂	本部	北見合計	置戸	訓子府	支署合計	組合合計	前年比	
2013 (H25)	2,085	1,500	28	8	579	191	419	12	4,822	146	205	351	5,173	46	0.9%
2014 (H26)	2,155	1,562	18	8	596	164	399	13	4,915	152	216	368	5,283	110	2.1%
2015 (H27)	1,818	1,444	654	7	363	197	426	21	4,930	160	206	366	5,296	13	0.2%
2016 (H28)	1,788	1,432	997	9	340	172	379	13	5,130	172	228	400	5,530	234	4.4%
2017 (H29)	1,832	1,567	957	12	337	181	378	18	5,282	182	198	380	5,662	132	2.4%
2018 (H30)	1,919	1,553	1022	13	343	172	431	18	5,471	160	217	377	5,848	186	3.3%
2019 (R1)	1,891	1,595	1,148	19	341	184	430	20	5,628	179	223	402	6,030	182	3.1%
2020 (R2)	1,741	1,485	987	15	299	189	393	22	5,131	146	219	365	5,496	△ 534	-8.9%
2021 (R3)	1,772	1,524	1,081	42	343	171	343	46	5,322	134	215	349	5,671	175	3.2%
2022 (R4)	2,084	1,864	1,307	76	386	172	407	36	6,332	150	274	424	6,756	1085	19.1%

表1-2 年別搬送人員内訳

	署	西	東	南	端野	常呂	留辺蘂	本部	北見合計	置戸	訓子府	支署合計	合計	前年比	
2013 (H25)	1,884	1,438	16	7	530	187	393	7	4,462	140	184	324	4,786	41	0.9%
2014 (H26)	1,921	1,451	7	5	551	156	367	13	4,471	149	201	350	4,821	35	0.7%
2015 (H27)	1,633	1,324	595	6	335	179	406	15	4,493	154	189	343	4,836	15	0.3%
2016 (H28)	1,618	1,335	884	7	313	156	349	10	4,672	161	212	373	5,045	209	4.3%
2017 (H29)	1,645	1,479	856	8	314	163	344	11	4,820	175	186	361	5,181	136	2.7%
2018 (H30)	1,746	1,454	921	9	312	162	400	16	5,020	149	194	343	5,363	182	3.5%
2019 (R1)	1,736	1,439	1047	13	314	164	388	17	5,118	163	203	366	5,484	121	2.3%
2020 (R2)	1,631	1,370	922	14	275	181	355	20	4,768	139	193	332	5,100	△ 384	-7.0%
2021 (R3)	1,630	1,406	991	40	323	161	321	40	4,912	124	200	324	5,236	136	2.7%
2022 (R4)	1,868	1,656	1177	65	346	165	375	32	5,684	138	243	381	6,065	829	15.8%

2、地区別救急隊出動件数

令和4年中の地区別救急隊出動件数は、北見市で前年より19.0%増加の6,332件、置戸町は前年より11.9%増加の150件、訓子府町は前年より27.4%増加の274件となっている。（表2-1）

自治区別救急隊出動件数では、北見自治区が前年より20.2%増加の5,367件、端野自治区が前年より12.5%増加の386件、常呂自治区は前年より0.6%増加の172件、留辺蘂自治区は前年比18.7%増加の407件となっている。（表2-2）

各事故種別件数（割合）は、急病4,571件（67.7%）が救急出動の大半を占め、一般負傷924件（13.7%）、転院搬送529件（7.8%）、交通事故293件（4.3%）となっている。（図2-1）

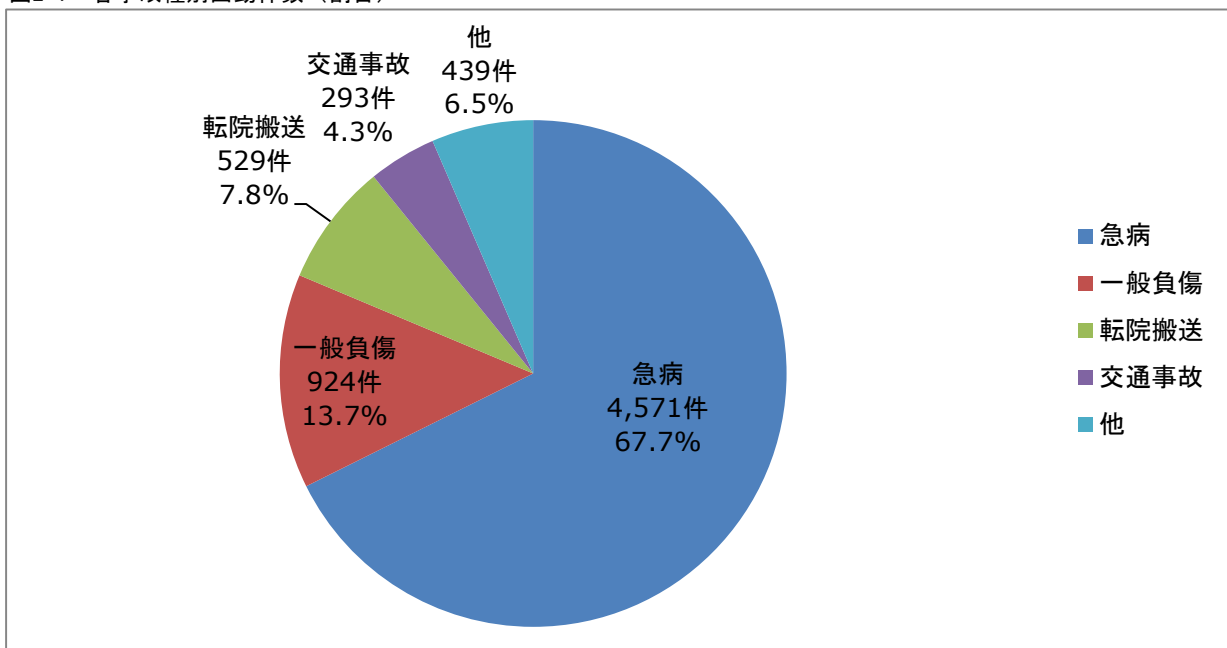
表2-1 地区別救急隊出動件数

事故種別		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	転	医	資	そ	計
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	院	師	機	の	
地区別		災	害	難	故	害	技	傷	害	為		送	送	輸	他	
合	出動件数	32	0	4	293	82	33	924	11	70	4,571	529	2	0	205	6,756
	増減数	△ 3	0	1	55	15	7	165	△ 4	7	755	53	△ 5	0	39	1,085
	搬送人員	6	0	1	261	82	32	857	9	55	4,247	513	0	0	2	6,065
	増減数	1	0	△ 2	33	17	6	138	△ 3	9	586	42	0	0	2	829
計北	出動件数	26	0	3	271	68	31	860	11	68	4,311	492	2	0	189	6,332
	増減数	△ 5	0	0	46	12	5	163	△ 4	6	708	50	△ 5	0	34	1,010
	搬送人員	5	0	0	247	68	30	799	9	55	3,993	476	0	0	2	5,684
	増減数	2	0	△ 3	32	14	4	136	△ 3	10	539	39	0	0	2	772
見市	出動件数	3	0	1	7	4	0	20	0	2	73	36	0	0	4	150
	増減数	2	0	1	2	△ 1	0	△ 3	0	2	13	2	0	0	△ 2	16
	搬送人員	0	0	1	5	4	0	20	0	0	72	36	0	0	0	138
	増減数	0	0	1	0	△ 1	0	△ 1	0	0	13	2	0	0	0	14
置戸	出動件数	3	0	0	15	10	2	44	0	0	187	1	0	0	12	274
	増減数	0	0	0	7	4	2	5	0	△ 1	34	1	0	0	7	59
	搬送人員	1	0	0	9	10	2	38	0	0	182	1	0	0	0	243
	増減数	△ 1	0	0	1	4	2	3	0	△ 1	34	1	0	0	0	43

表2-2 自治区別救急隊出動件数

事故種別		火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	転	医	資	そ	計
		災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	院	師	機	の	
自治区別		災	害	難	故	害	技	傷	害	為		送	送	輸	他	
合	出動件数	26	0	3	271	68	31	860	11	68	4,311	492	2	0	189	6,332
	増減数	△ 5	0	0	46	12	5	163	△ 4	6	708	50	△ 5	0	34	1,010
	搬送人員	5	0	0	247	68	30	799	9	55	3,993	476	0	0	2	5,684
	増減数	2	0	△ 3	32	14	4	136	△ 3	10	539	39	0	0	2	772
計北見自治区	出動件数	22	0	2	219	46	22	724	10	61	3,670	423	2	0	166	5,367
	増減数	4	0	2	47	7	2	152	△ 4	9	591	72	△ 5	0	25	902
	搬送人員	5	0	0	196	45	21	668	9	49	3,392	411	0	0	2	4,798
	増減数	3	0	0	35	8	1	127	△ 2	12	441	64	0	0	2	691
端野自治区	出動件数	0	0	1	28	5	7	59	1	2	247	28	0	0	8	386
	増減数	△ 1	0	0	△ 2	△ 2	1	10	0	△ 1	52	△ 18	0	0	4	43
	搬送人員	0	0	0	31	5	7	57	0	1	221	24	0	0	0	346
	増減数	0	0	0	2	△ 2	1	9	△ 1	△ 2	37	△ 21	0	0	0	23
常呂自治区	出動件数	2	0	0	8	1	1	23	0	1	111	23	0	0	2	172
	増減数	△ 6	0	△ 2	△ 1	△ 3	1	△ 5	0	△ 1	20	△ 2	0	0	0	1
	搬送人員	0	0	0	7	1	1	23	0	1	109	23	0	0	0	165
	増減数	△ 1	0	△ 3	△ 4	△ 3	1	△ 5	0	△ 1	22	△ 2	0	0	0	4
留辺蘂自治区	出動件数	2	0	0	16	16	1	54	0	4	283	18	0	0	13	407
	増減数	△ 2	0	0	2	10	1	6	0	△ 1	45	△ 2	0	0	5	64
	搬送人員	0	0	0	13	17	1	51	0	4	271	18	0	0	0	375
	増減数	0	0	0	△ 1	11	1	5	0	1	39	△ 2	0	0	0	54

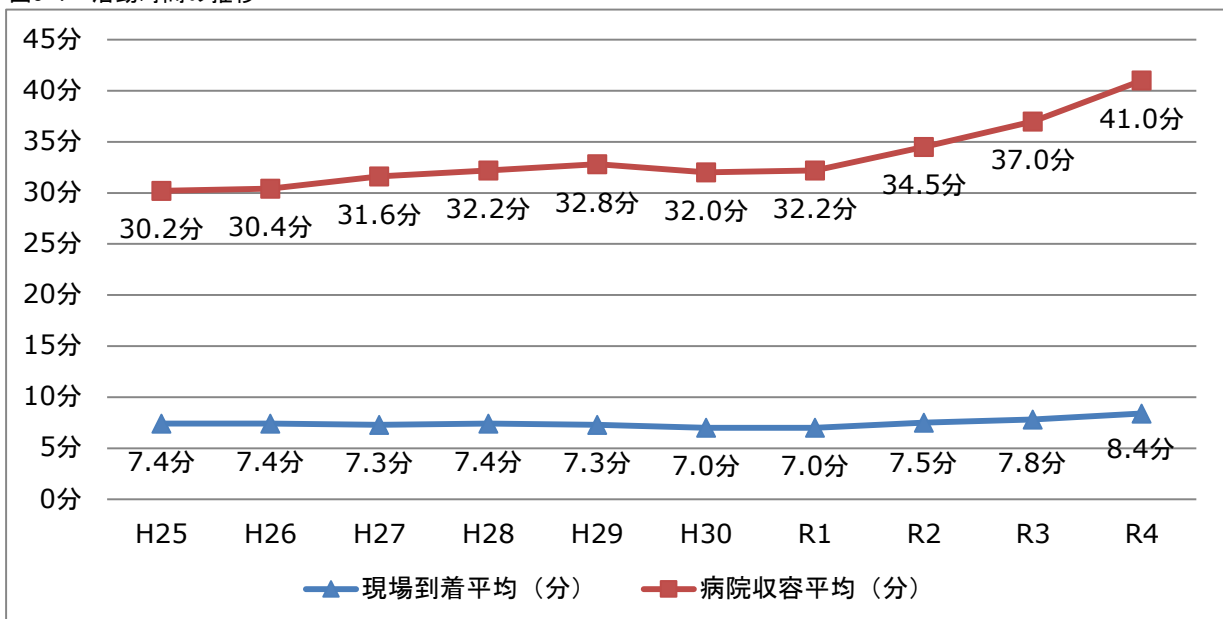
図2-1 各事故種別出動件数（割合）



3、救急搬送の状況（活動時間の推移）

令和4年中の覚知から現場到着までの平均時間は8.4分、覚知から病院収容までの平均時間は41分であった。（図3-1）

図3-1 活動時間の推移



4、傷病者年齢区分別搬送人員状況

令和4年中の搬送人員6,065人に対し、年齢区分における高齢者（65歳以上）の搬送人員は4,143人となり、全体の68.3%を占めている。（表4-1、図4-1）

高齢者搬送人員は令和2年からは減少傾向となるも、新型コロナウイルス感染症拡大の影響があったものと推測され、再度上昇に転じた。（表4-2、図4-2）

表4-1 傷病者年齢区分別搬送種別状況

事故種別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
年齢区分		災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	送	他	
新生児	R4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	12	0	14
	増減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 2	4	0	2
乳幼児	R4	0	0	0	4	0	0	43	1	0	141	9	0	198
	増減	0	0	0	1	0	0	3	1	0	28	6	0	39
少年	R4	0	0	0	21	0	22	29	0	2	81	6	0	161
	増減	0	0	0	0	0	7	16	△ 1	0	△ 1	0	0	21
成人	R4	4	0	0	153	56	8	119	8	45	1,049	107	0	1,549
	増減	2	0	△ 3	22	13	△ 2	△ 1	△ 1	9	72	△ 9	0	102
前期高齢者	R4	1	0	1	46	19	1	108	0	3	688	89	1	957
	増減	0	0	1	15	2	0	3	0	△ 2	57	19	1	96
後期高齢者	R4	1	0	0	37	7	1	558	0	5	2,286	290	1	3,186
	増減	△ 1	0	0	△ 5	2	1	117	△ 2	2	432	22	1	569
計		6	0	1	261	82	32	857	9	55	4,247	513	2	6,065

【年齢分類】

新生児＝生後28日未満

乳幼児＝28日以上7歳未満

少年＝7歳以上18歳未満

成人＝18歳以上65歳未満

前期高齢者＝65歳以上、75歳未満

後期高齢者＝高齢者のうち75歳以上

図4-1 傷病者年齢区分別搬送人員状況

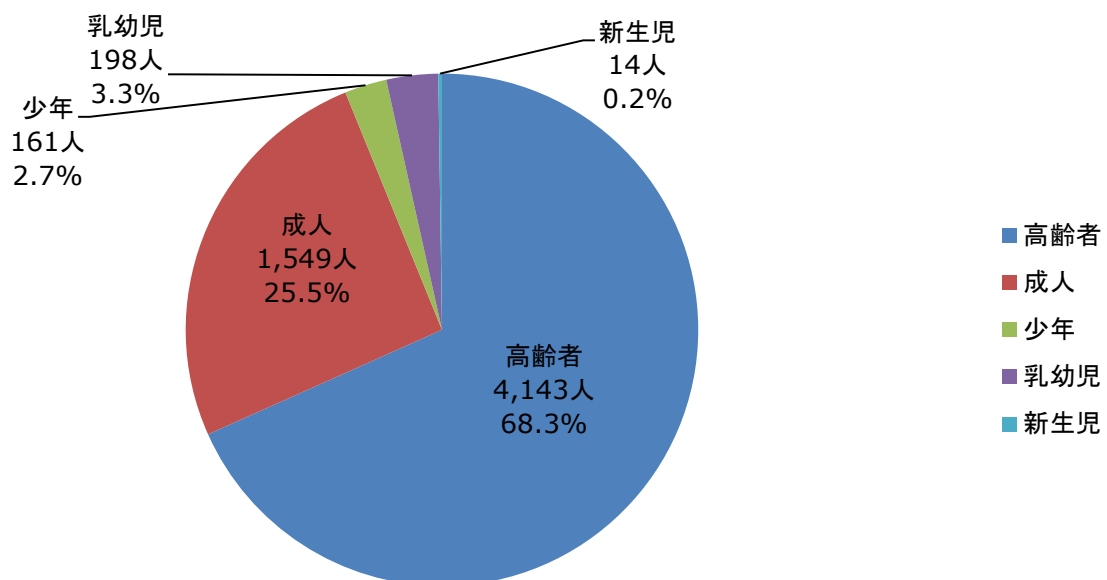
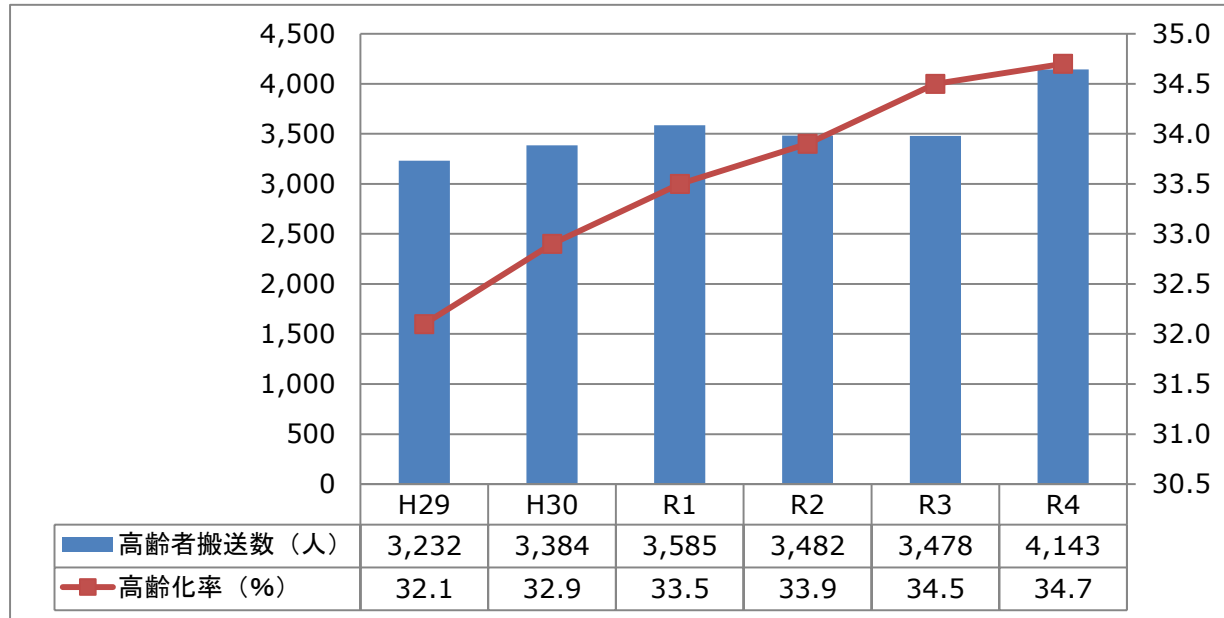


表4-2 高齢者搬送人員状況

項目	年	H29		H30		R1		R2		R3		R4	
		搬送人員	増減	搬送人員	増減	搬送人員	増減	搬送人員	増減	搬送人員	増減	搬送人員	増減
急病		2,259	112	2,312	53	2,542	230	2,410	△ 132	2,485	75	2,974	489
一般負傷		503	40	541	38	527	△ 14	543	16	546	3	666	120
交通事故		83	△ 12	89	6	71	△ 18	84	13	73	△ 11	83	10
他		387	△ 2	442	55	445	3	445	0	374	△ 71	420	46
計		3,232	138	3,384	152	3,585	201	3,482	△ 103	3,478	△ 4	4,143	665
うち老健施設から		425		465	40	473	8	557	84	558	1	705	147

図4-2 高齢者救急搬送の推移



※高齢化率は各年11月末の統計（北見市、置戸町、訓子府町から抜粋）

※高齢者搬送者数は延べ人数

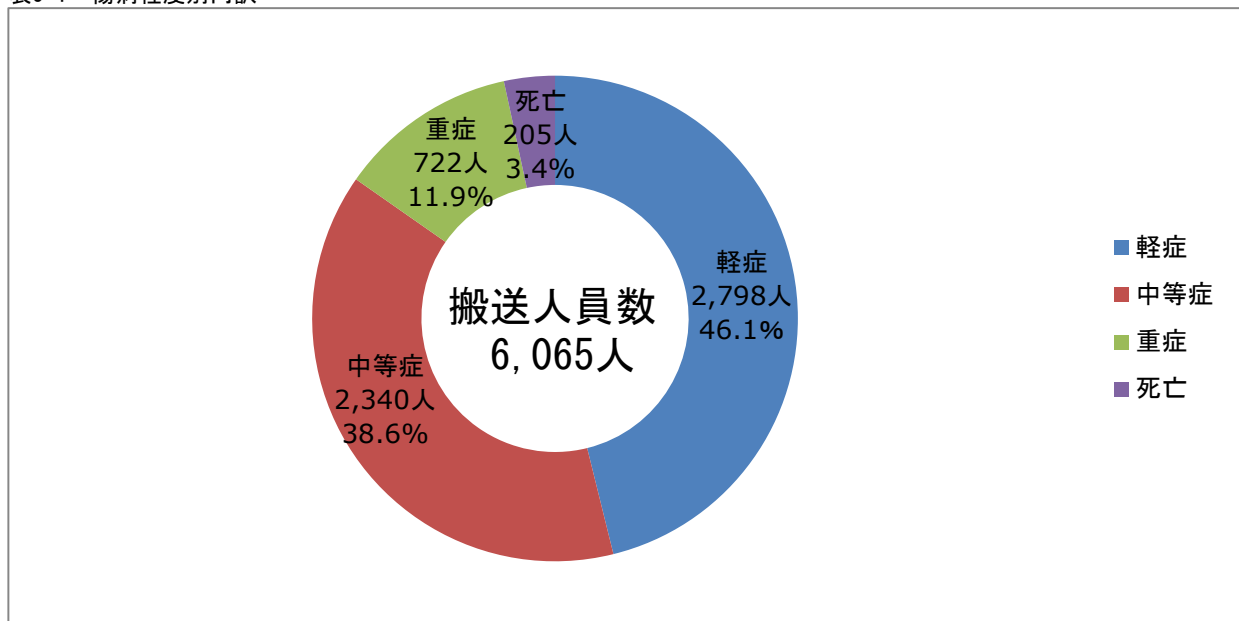
5、傷病程度別搬送人員状況

令和4年中の搬送人員6,065人のうち、中等症傷病者の割合は38.6%で前年比6.2%減、入院加療を必要としない軽症傷病者の割合は46.1%で前年比6.2%増となっている。（図5-1、表5-1）

図5-1 傷病程度分類

事故種別 程度		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計	割合（％）
死亡	R4	0	0	1	4	0	0	9	0	5	182	4	0	205	3.4
	増減	△ 1	0	1	0	△ 2	0	1	0	△ 6	4	1	0	△ 2	
重症	R4	1	0	0	12	12	0	127	0	8	464	98	0	722	11.9
	増減	1	0	0	5	2	0	66	0	7	68	△ 14	0	135	
中等症	R4	3	0	0	45	27	9	262	1	25	1,623	344	1	2,340	38.6
	増減	1	0	△ 2	△ 5	0	2	△ 44	△ 2	5	△ 7	44	1	△ 7	
軽症	R4	2	0	0	200	43	23	459	8	17	1,978	67	1	2,798	46.1
	増減	0	0	△ 1	33	17	4	117	△ 1	3	524	11	1	708	
その他	R4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	増減	0	0	0	0	0	0	△ 2	0	0	△ 3	0	0	△ 5	
計		6	0	1	261	82	32	857	9	55	4,247	513	2	6,065	100

表5-1 傷病程度別内訳



※死亡とは、初診時において死亡が確認されたもの

※重症とは、傷病程度が3週間の入院加療を必要とするもの

※中等症とは、傷病程度が重症又は軽症以外のもの

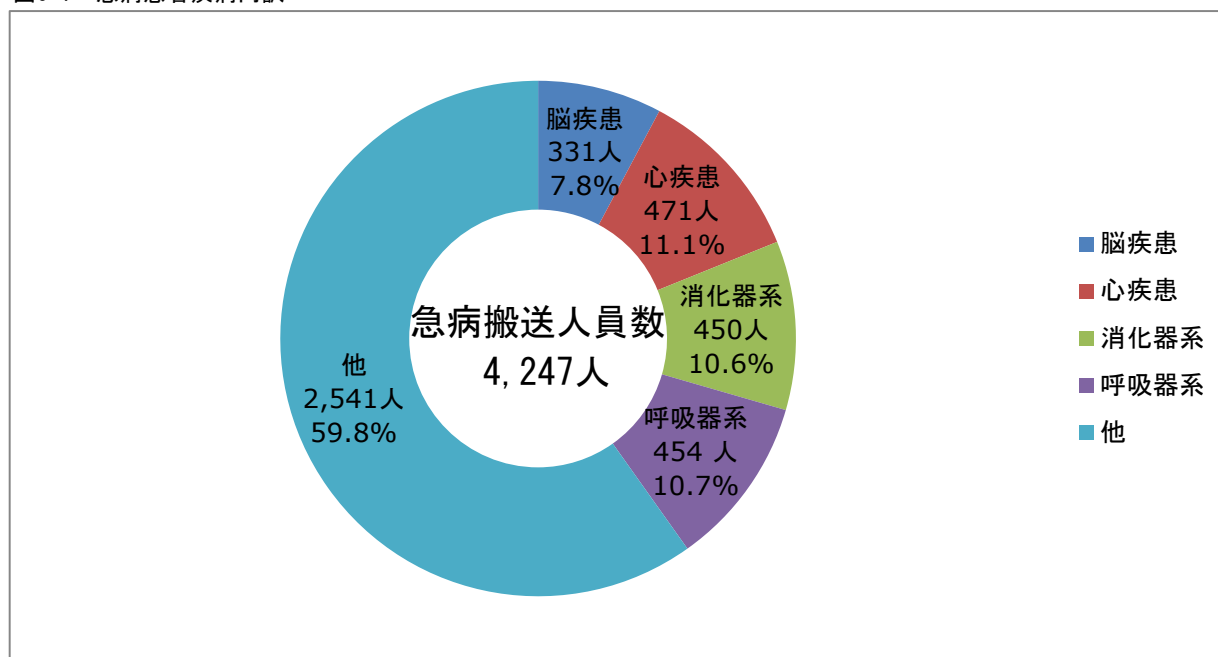
※軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないもの

※その他とは、医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの、並びにその他の場所に搬送したもの

6、急病に係る疾病分類項目別搬送人員状況

令和4年中の急病の搬送人員内訳を世界保健機構（WHO）の国際疾病分類の項目別で見ると、脳疾患331人（7.8%）、心疾患471人（11.1%）消化器系450人（10.6%）、呼吸器系454人（10.7%）となっている。（図6-1）

図6-1 急病患者疾病内訳



7、急病に係る疾病分類項目別重症割合

令和4年中の急病の疾病分類項目別に重症以上の割合をみると、脳疾患（36.6%）、新生物（30.1%）、心疾患（23.6%）の順となっている。（表7-1）

表7-1 疾病分類項目別重症割合

種別 項目	脳疾患	心疾患	消化器系	呼吸器系	精神系	感覚系	泌尿器系	新生物	その他	症状・徴候 診断名 不明確	計
搬送人員	331	471	450	454	82	105	197	73	2,072	12	4,247
重症以上	121	111	66	92	3	0	23	22	208	0	646
割合 (%)	36.6	23.6	14.7	20.3	3.7	0.0	11.7	30.1	10.0	0.0	15.2

8、医療機関別搬送人員の状況及び管外搬送状況

令和4年中の搬送人員6,065人のうち北見赤十字病院への搬送が2,922人（48.2%）で、約半数を占めている。（表8-1）

救急車による管外搬送件数は47件で、前年より11件増加している。地域別では、札幌市への搬送が3件増加、旭川市への搬送が2件増加、網走市への搬送が5件増加している。（表8-2、図8-1）

表8-1 医療機関別搬送人員内訳

種別		急病		交通事故		一般負傷		転院搬送		それ以外		合計	
病院名	人数	1,955		105		344		403		115		2,922	
	割合(%) 増減	32.2	319	1.7	20	5.7	61	6.6	21	1.9	24	48.2	445
北見赤十字病院	人数	633		81		213		39		31		997	
	割合(%) 増減	10.4	△ 39	1.3	△ 4	3.5	△ 16	0.6	11	0.5	△ 1	16.4	△ 49
小林病院	人数	303		9		43		10		4		369	
	割合(%) 増減	5.0	23	0.1	5	0.7	8	0.2	△ 2	0.1	△ 2	6.1	32
北星記念病院	人数	804		52		191		3		24		1,074	
	割合(%) 増減	13.3	147	0.9	9	3.1	83	0.0	△ 1	0.4	12	17.7	250
道東の森総合病院	人数	61		0		2		16		0		79	
	割合(%) 増減	1.0	5	0.0	0	0.0	1	0.3	△ 1	0.0	0	1.3	5
道立北見病院	人数	159		1		5		1		1		167	
	割合(%) 増減	2.6	56	0.0	1	0.1	△ 6	0.0	1	0.0	0	2.8	52
林-ツ勤医協北見病院	人数	67		2		13		1		0		83	
	割合(%) 増減	1.1	12	0.0	0	0.2	5	0.0	1	0.0	△ 4	1.4	14
JA常呂厚生病院	人数	121		0		7		0		2		130	
	割合(%) 増減	2.0	50	0.0	△ 1	0.1	△ 5	0.0	0	0.0	0	2.1	44
置戸赤十字病院	人数	129		10		38		10		10		197	
	割合(%) 増減	2.1	4	0.2	5	0.6	9	0.2	7	0.2	1	3.2	26
その他組合内医療機関	人数	15		1		1		30		0		47	
	割合(%) 増減	0.2	9	0.0	△ 2	0.0	△ 2	0.5	5	0.0	0	0.8	10
組合外医療機関搬送	人数	4,247		261		857		513		187		6,065	
	割合(%) 増減	70.0	586	4.3	33	14.1	138	8.5	42	3.1	30	100	829

※搬送割合は全搬送人員に対する割合

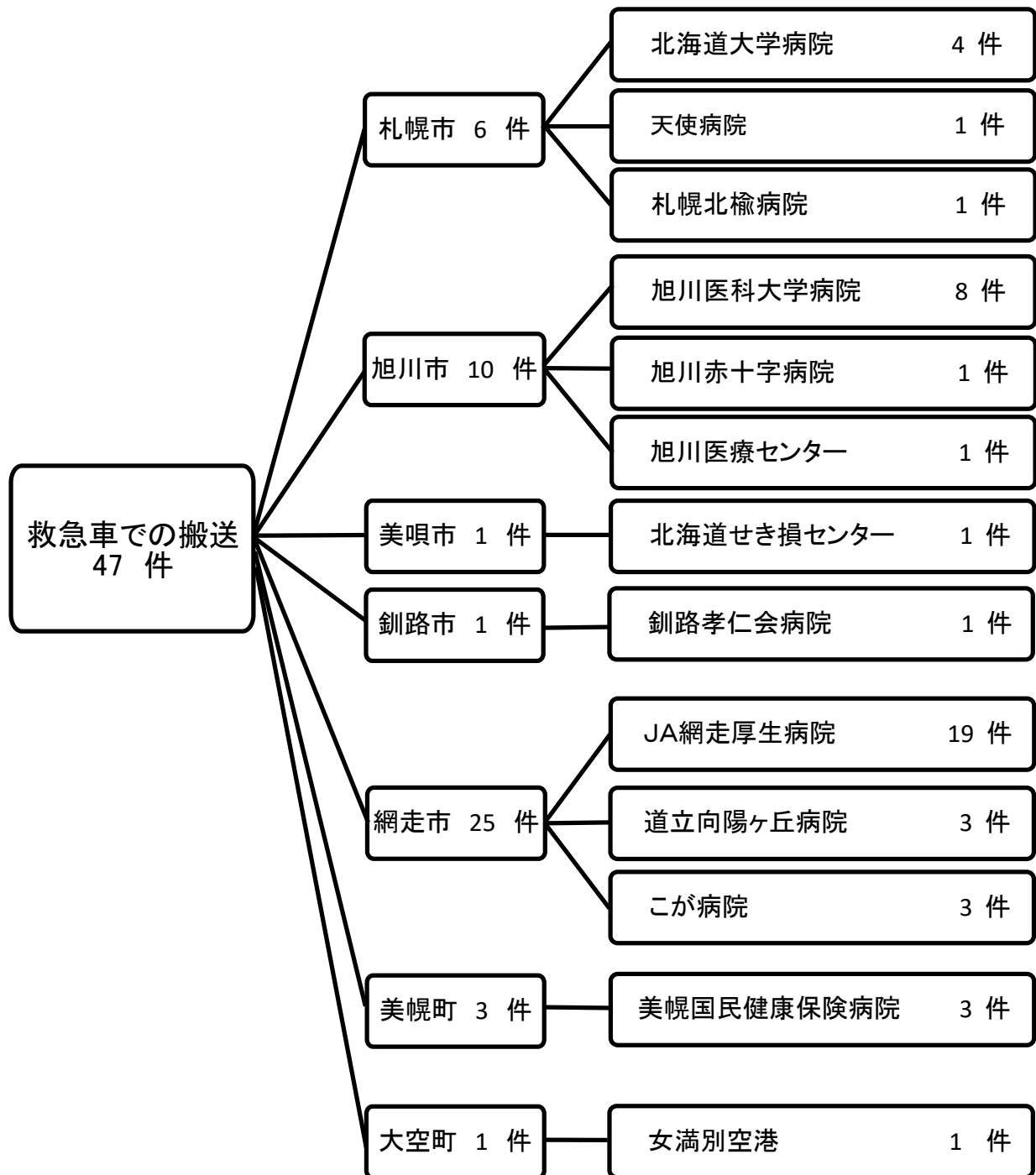
※増減数は前年と比較しての増減

※令和3年の組合外医療機関搬送件数は36件、搬送人員は37人

表8-2 年別管外搬送状況（救急車）

	札幌市	旭川市	釧路市	帯広市	女満別空港	その他
H29	2	4	0	3	2(札幌市)	31(内網走市以外8)
H30	8	10	0	0	3(札幌市)	20(内網走市以外2)
R1	4	15	0	0	2(札幌市、宮崎県)	14(内網走市以外2)
R2	6	11	0	2	2(札幌市)	24(内網走市以外4)
R3	3	8	0	0	1(札幌市)	24(内網走市以外4)
R4	6	10	1	0	1(札幌市)	29(内網走市以外4)

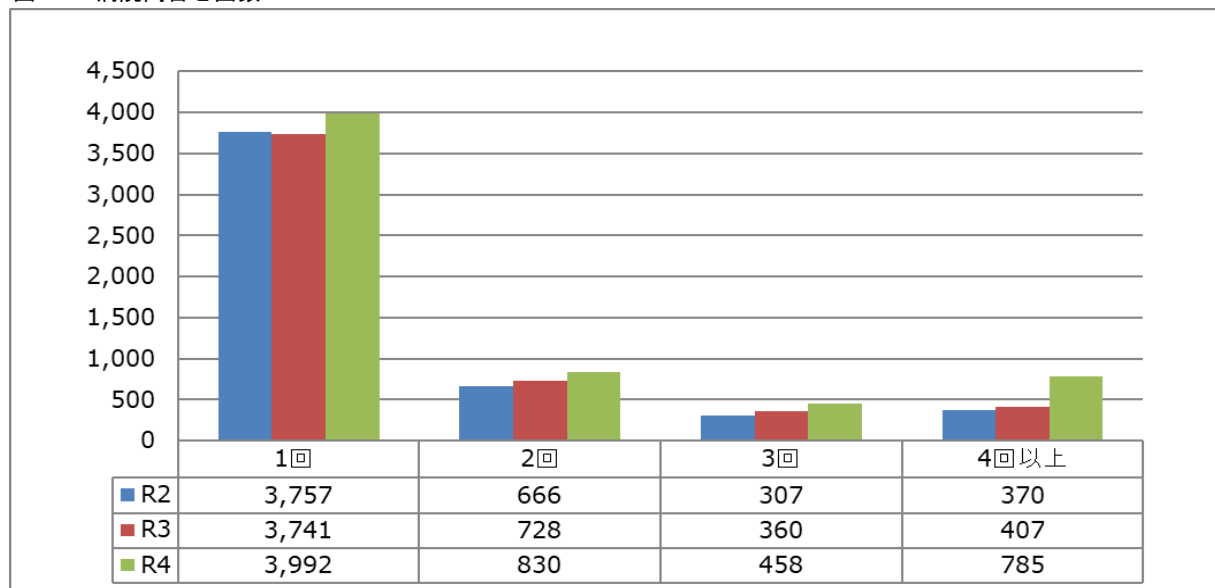
図8-1 管外搬送状況内訳



9、病院問合せ回数

令和4年中の傷病者受け入れに係る病院問合せ回数のうち、1回で決定したものは3,992件（65.8%）、4回以上（最多17回）で決定したものは785件（12.9%）となっている。（図9－1）

図9-1 病院問合せ回数



10、心肺停止傷病者搬送人員、社会復帰状況

令和4年中の心肺停止傷病者搬送数は204人であり前年より3人増加した。社会復帰者は7人であった。（表10－1）

表10-1 心肺停止傷病者社会復帰率

項目 \ 年	H29	H30	R1	R2	R3	R4
心肺停止傷病者搬送数	154	157	174	174	201	204
社会復帰者数	2	10	2	2	5	7
社会復帰率（%）	1.3	6.4	1.1	1.1	2.5	3.4

※社会復帰者とは、脳機能カテゴリー（CPC）及び全身機能カテゴリー（OPC）が2以下（機能良好もしくは中程度障害）のものをいう。

機能良好とは、普段と同様の生活が可能な状態であり、障害は残っていても軽度の神経症状あるいは精神障害までのことをいう。

中程度障害とは、保護されたパートタイムの仕事が可能であり、介助なしに日常生活が可能な状態のことをいう。

※1ヶ月生存者は、10名（4.9%）である。

※令和4年の社会復帰率については、1ヶ月後の調査により確定値となるため速報値として報告する。

11、二次・三次医療機関への搬送状況

令和4年中の三次医療機関への搬送人員は前年と比べ449人増加している。
CPA（心肺停止傷病者）の搬送は204人中160人、78. 4%が三次医療機関へ搬送されている。（表11－1）

表11-1 二次・三次医療機関搬送状況

項目		事故種別									
		急病	一般負傷	交通事故	労働災害	自損行為	加害	運動競技	転院搬送	その他 (火災等)	計
三次医療機関	搬送人員	1,955	344	105	44	46	5	13	416	7	2,935
	搬送割合（％）	32	6	2	1	1	0	0	7	0	49
	CPA搬送人員	139	13	1	0	6	0	0	1	0	160
二次医療機関	搬送人員	2,102	473	146	35	6	4	15	71	2	2,854
	搬送割合（％）	35	8	2	1	0	0	0	1	0	47
	CPA搬送人員	36	1	0	0	0	0	0	0	1	38

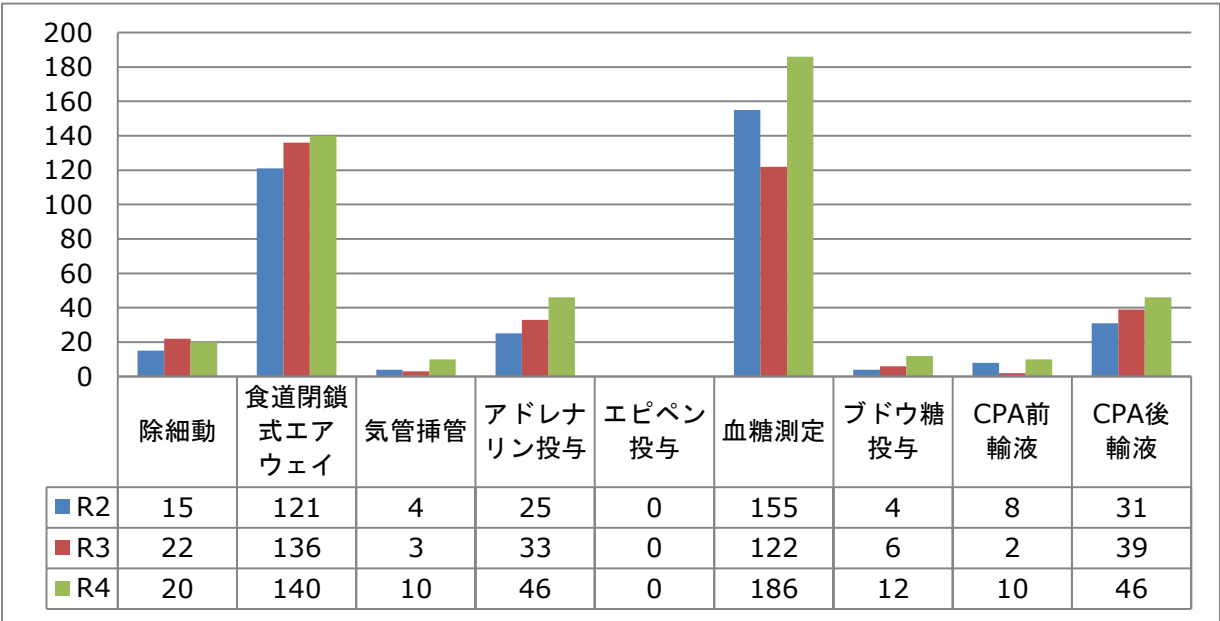
※CPA搬送人員…一次医療機関搬送6人(道立5、中央1)

12、特定行為等の実施状況

令和4年中の特定行為等の実施状況について、心肺停止及び呼吸停止傷病者搬送事案206件のうち器具を用いた気道確保は150件（72. 8%）実施されており、内訳として食道閉鎖式エアウェイ140件（68. 0%）、気管挿管10件（4. 8%）であった。また、心肺停止後の静脈路確保は46件（22. 3%）、アドレナリン投与は46件（22. 3%）であった。

平成27年から可能となったブドウ糖投与は低血糖判定22件のうち12件、心肺停止前重症傷病者に対する輸液は10件実施した。（図12－1）

図12-1 特定行為等実施状況



13、救命講習実施状況

過去3年間の救命講習実施状況は、普通救命講習及び一般講習等合わせて198回の実施、延べ4,194人の受講となっている。（表13-1）

オンライン救命講習会(短時間講習含む)については、令和2年計10回、106人、令和3年は計20回、350人、令和4年は計14回、147人に対し開催した。

表13-1 応急手当普及啓発講習会実施状況（過去3年間）

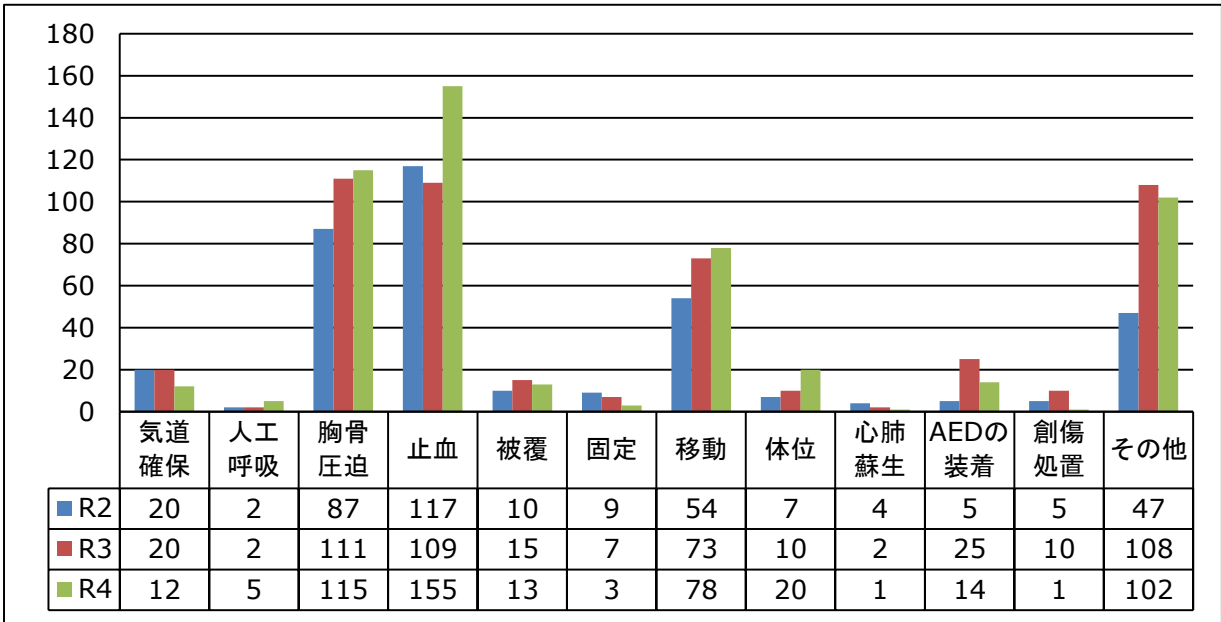
年	講習(種類)			回数(回)	人数(人)
令和 2 年	普通救命講習		普通Ⅰ	38	732
			普通Ⅲ(小児)	0	0
	一般講習	救命入門 コース	学校関係	0	0
			職域関係	0	0
			一 般	0	0
		応急手当 講習	学校関係	0	0
			職域関係	0	0
			一 般	0	0
		短時間 講習	学校関係	8	235
			職域関係	12	196
			一 般	8	205
	上級救命講習			1	8
	普及員講習			1	7
	指導員講習			0	0
患者等搬送事業者			0	0	
計			68	1,383	
令和 3 年	普通救命講習		普通Ⅰ	19	533
			普通Ⅲ(小児)	0	0
	一般講習	救命入門 コース	学校関係	0	0
			職域関係	0	0
			一 般	0	0
		応急手当 講習	学校関係	0	0
			職域関係	0	0
			一 般	0	0
		短時間 講習	学校関係	25	480
			職域関係	16	253
			一 般	0	0
	上級救命講習			0	0
	普及員講習			3	13
	指導員講習			1	3
患者等搬送事業者			1	2	
計			65	1,284	
令和 4 年	普通救命講習		普通Ⅰ	28	648
			普通Ⅲ(小児)	0	0
	一般講習	救命入門 コース	学校関係	0	0
			職域関係	0	0
			一 般	0	0
		応急手当 講習	学校関係	0	0
			職域関係	0	0
			一 般	0	0
		短時間 講習	学校関係	24	760
			職域関係	8	78
			一 般	2	35
	上級救命講習			0	0
	普及員講習			2	4
	指導員講習			1	2
患者等搬送事業者			0	0	
計			65	1,527	
	合計			198	4,194

14、市民による応急手当実施状況

令和4年中の市民による応急手当の実施状況は、止血の実施件数が155件と最も多く、次いで胸骨圧迫が115件、その他が102件の順となっている。また、市民によるAED装着は14件であり、うち3件で電気ショックが行なわれていた。（図14-1）

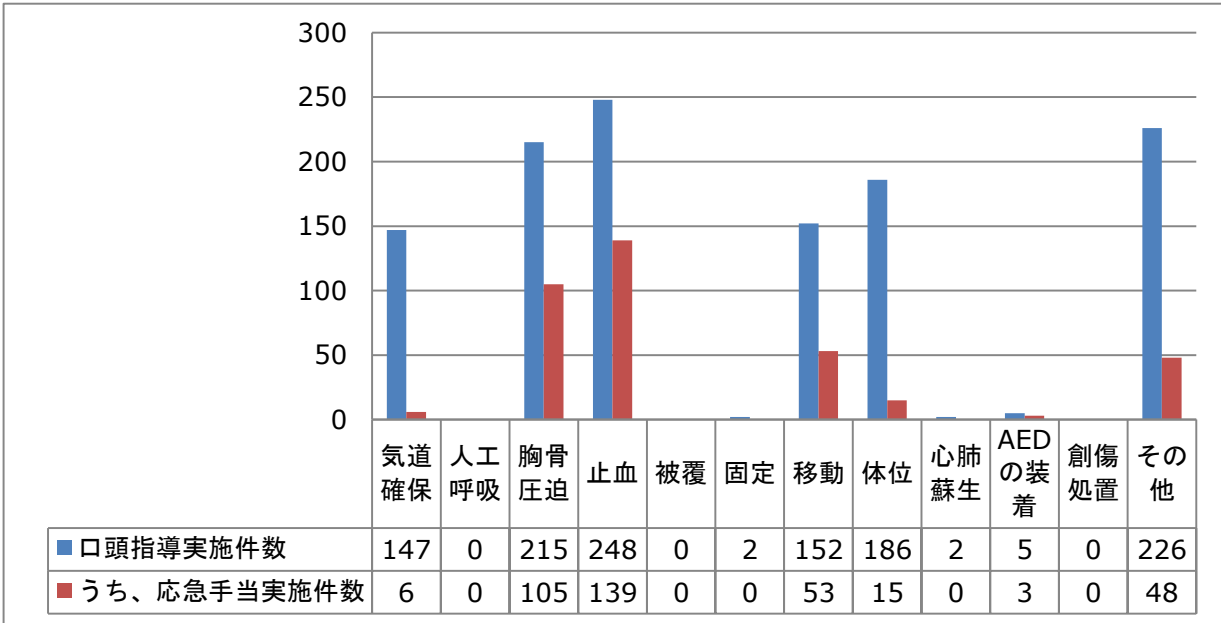
119番通報時に指令員が実施する口頭指導での応急手当の実施状況は、止血が最多で56%の実施率となっている。（図14-2）

図14-1 市民による応急手当実施状況



※心肺蘇生は、人工呼吸と胸骨圧迫の両方を実施したもの。
※その他は、上記以外の換気や除細動実施、異物除去、冷却などの処置

図14-2 口頭指導・応急手当実施状況対比表

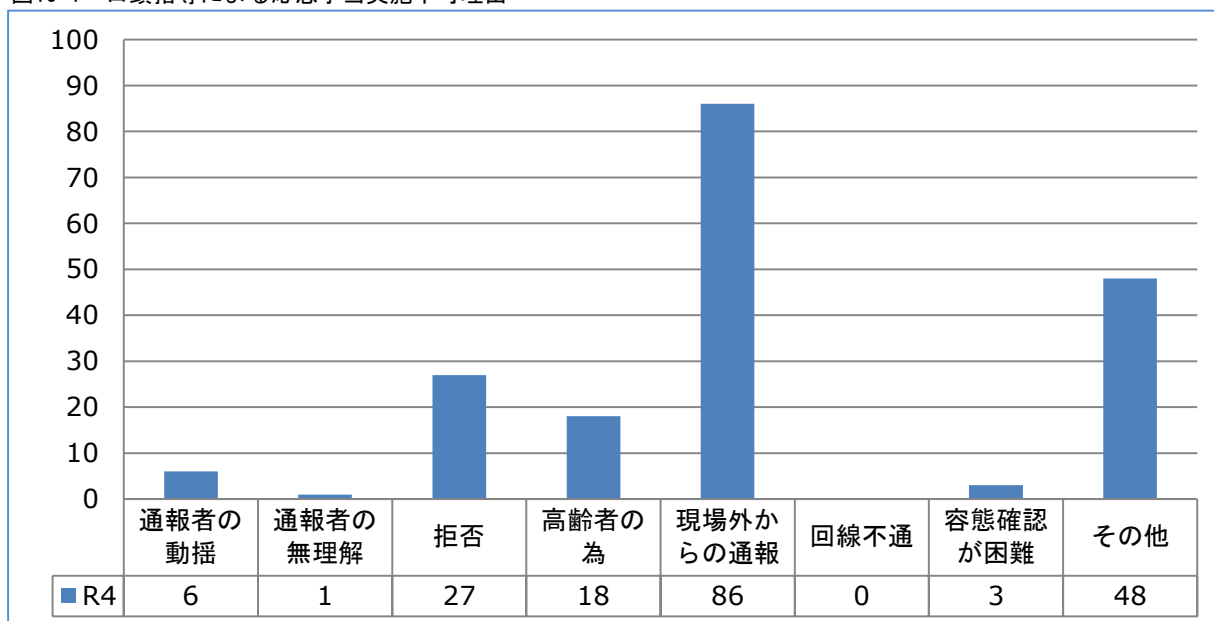


※ 1 事案で複数項目の口頭指導を実施している事案がある。

15、口頭指導による応急手当実施不可理由

口頭指導を行なったが応急手当を実施できなかった理由として、現場外からの通報の86件が最も多く、拒否27件、高齢者の為が18件と続いている。その他の内訳としては「移動不可、協力者不在、資器材なし」等がある。（図15-1）

図15-1 口頭指導による応急手当実施不可理由



※すべての救急事案で聴取することは不可能なため、聴取可能だった事案のみ統計に反映している。

16、周産期救急の出動状況

令和4年中の周産期救急は15件（0.2%）で、病院前分娩は2件であった。周産期救急における搬送状況は転院搬送が12件（80%）となっている。（表16-1）

表16-1 自宅分娩及び車中分娩件数

H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
0件	1件	0件	2件	1件	1件	0件	0件	1件	2件

17、ドクターカー出動状況

平成25年5月より北見赤十字病院の保有する周産期救急ドクターカーを北見地区消防組合が協定により運行している。病院前周産期救急診療及び重度傷病者に対する救急診療等が対象となり、医師・看護師及び救急救命士が乗車し早期に診療を開始することで救命率向上を図ることを目的としている。

令和4年中の出動件数は36件で、内訳は宿泊療養施設から感染症指定病院への施設間搬送が13件、交通事故が2件、転院搬送が19件、医師搬送が2件であった。

18、新型コロナウイルス感染者対応状況

令和4年中の新型コロナウイルス感染者を対応した救急出動は362件で前年比311件増、搬送人員は321人で前年比271人増となった。不搬送の内訳は、搬送種別自宅療養で38件、その他で4件で合計42件であった。

表17-1 新型コロナウイルス感染者対応内訳

搬送種別		宿泊療養	自宅療養 (施設含む)	転院搬送	その他	計
年						
令和2年	出動件数	0	0	5	2	7
	不搬送	0	0	0	0	0
	搬送人員	0	0	5	2	7
令和3年	出動件数	37	5	2	7	51
	不搬送	1	0	0	0	1
	搬送人員	36	5	2	7	50
令和4年	出動件数	14	167	13	168	362
	不搬送	0	38	0	4	42
	搬送人員	14	129	13	165	321